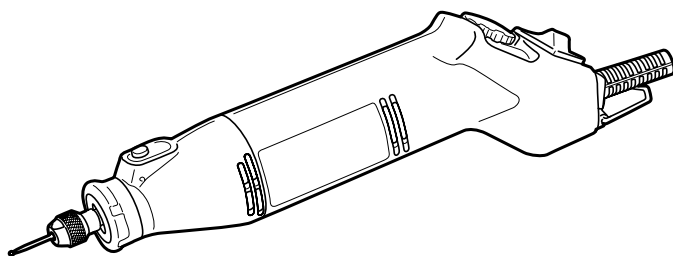


RYOBI

ホビールータ

HR-100

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	1 ~ 6
各部の名称	6
仕様・付属品・用途	7
別販売品	8 ~ 9
操作方法	10 ~ 11
先端工具の取付け、取外し	12 ~ 14
ご使用方法	15 ~ 16
保守と点検	17



二重絶縁

このたびは、リョービホビールータをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

警告

6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のどがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

警告

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申しつてください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ホビールータご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ホビールータをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

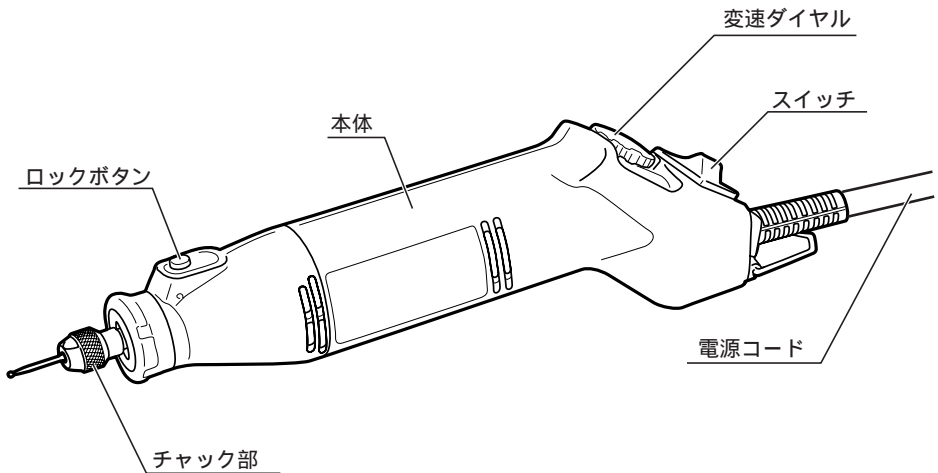
1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護めがねを着用してください。
また、切削、研削粉じんを吸込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
3. 先端工具（アクセサリー）は純正品を使用してください。
 - ・異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 先端工具（アクセサリー）の軸が曲がったものや、砥石などにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・異常があると、先端工具（アクセサリー）が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中は、振回されないよう本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. 水、研磨液などは使用しないでください。
 - ・感電事故のもとになります。
7. 本体を万力などで固定した使い方はしないでください。
8. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
9. 加工する材料は確実に固定してください。特に、小さい材料を加工する場合はバイスなどで動かないように固定してください。
 - ・加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
10. 作業前に、刃物の回転方向側に人がいないことを確認してください。また、引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
 - ・研削粉は火花となって飛散するので、火災ややけどの原因になります。
11. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用すると、けがの原因になります。
12. 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形などが無いことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
13. 【事業者の方へ】砥石の取換え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令	労働安全衛生規則	第36条
	安全衛生特別教育規程	第2条

⚠ 注意

1. 先端工具（アクセサリー）は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避けてください。
 - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. コードを引っ張ったり、引っ掛けたりしないでください。
4. 本体を作動させたまま、床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

各部の名称



仕様・付属品・用途

仕様

- ・電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・消費電力 100W
- ・無負荷回転数 8,000 ~ 23,000min⁻¹
- ・チャックサイズ（径）..... 2.4mm , 3.0mm
- ・コード長さ 2m
- ・質量 0.45kg
- ・絶縁方式 二重絶縁

付属品

- ・コレット（径）2.4mm 1（本体組込）
- ・コレット（径）3.0mm 1
- ・片口スパナ 1
- ・ハイスビット 6本組 1
- ・キャリングケース 1

用途

- ・ガラス彫刻、一般彫刻、彫金、金型修正、模型工作、金属の磨きなど。
用途に合わせた別販売品（アクセサリ）を用意してください。
付属品のハイスビットは鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削用です。

別販売品

先端工具（アクセサリー）

⚠ 警告

・先端工具（アクセサリー）は、必ず指定の純正品を使用してください。異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。

215ダイヤモンド

（用途）ガラス、陶器の彫刻、研磨。



- ・軸径 / 2.35mm
- ・刃先径 / 1.6mm（長さ4mm）
- ・材質 / ダイヤモンド電着

720ハイスビット

（用途）鉄、アルミ、真鍮、プラスチックの切削。



- ・軸径 / 2.35mm
- ・刃先径 / 5.0mm
- ・材質 / S.K.カッター

222ダイヤモンド

（用途）ガラス、陶器の彫刻、研磨。



- ・軸径 / 2.35mm
- ・刃先径 / 1.8mm
- ・材質 / ダイヤモンド電着

770軸付砥石

（用途）金属、ガラス、陶器、宝石の研削。



- ・軸径 / 2.35mm
- ・砥石径 / 3.0mm～6.0mm
- ・材質 / G.C.砥石

291布、皮、フェルトパフ

（用途）金属、宝石、ガラスの超仕上げ、磨き。



- ・軸径 / 2.35mm
- ・パフ径 / 22mm
- ・材質 / 布、皮、フェルト

771軸付砥石

（用途）金属、ガラス、陶器、宝石の研削。



- ・軸径 / 2.35mm
- ・砥石径 / 3.0mm～8.0mm
- ・材質 / G.C.砥石

710ハイスビット

（用途）鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削。








- ・軸径 / 2.35mm
- ・刃先径 / 2.3mm～3.1mm
- ・材質 / H.S.カッター

790ダイヤモンド

（用途）ガラス、陶器の彫刻、研磨。



- ・軸径 / 2.35mm
- ・刃先径 / 1.8mm
- ・材質 / ダイヤモンド砥石

<p>800純毛バフ (用途) 磨き、つや出し用。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径 / 2.35mm ・バフ径 / 7.0mm ~ 16mm ・材質 / 純毛 	<p>960ワイヤブラシ (用途) 鉄、非鉄金属の磨き。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径 / 2.35mm ・ブラシ径 / 6mm、22mm ・材質 / 真鍮ワイヤブラシ
<p>850ミニドリル (用途) 金属、非金属の穴あけ。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径 / 2.35mm ・ドリル径 / 0.5mm, 0.8mm (キリ長さ8mm) 1.0mm (キリ長さ10mm) ・材質 / H.S.ドリル 	<p>980ロールペーパー (用途) 研磨、仕上げ (内側、穴の研磨にも)。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径 / 3.0mm ・ロールペーパー / 10mm × 8mm × 10mm (外径) × (内径) × (長さ) ・材質 / #120ペーパー
<p>ハイスビット (付属品) 鉄、アルミ、真鍮の彫刻、切削。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・軸径 / 2.35mm ・刃先 / 0.8mm ~ 2.2mm ・材質 / H.S.カッター 	

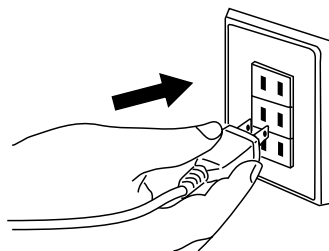
操作方法

電源の接続とスイッチ操作

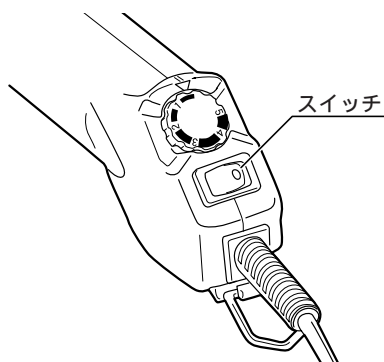
⚠ 警告

- ・電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
- ・使用后や点検、先端工具（アクセサリ）の交換の際はスイッチを切り、必ず電圧プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・電源プラグを所定の電源コンセントに確実にさし込んで接続します。電源の接続ができましたら、スイッチを操作します。

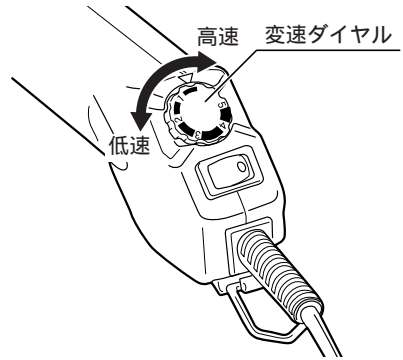


- ・スイッチは の付いた方を押すと入り（ON）、マークのない方を押すと切る（OFF）となります。



速度調整について

- ・ 変速ダイヤルを右に回すと高速となり、左に回すと低速になります。
- 加工材の材質、お使いになる先端工具（アクセサリー）に合わせて表を目安に回転速度を調節してください。



(表 1)

変速ダイヤル位置	無負荷回転数(min ⁻¹)
1	8,000 ~ 12,000
2	12,000 ~ 14,000
3	15,000 ~ 18,000
4	18,000 ~ 21,000
5	21,000 ~ 23,000

(表 2)

先端工具 (アクセサリー)	最高使用回転数 (min ⁻¹)	変速ダイヤル 推奨範囲
ハイスビット (付属品)	25,000	3 ~ 5
215 ダイヤビット	30,000	3 ~ 4
222 ダイヤビット	30,000	3 ~ 4
291 布、皮、フェルトパフ	10,000	1
710 ハイスビット	30,000	3 ~ 4
720 ハイスビット	30,000	3 ~ 4
770 軸付砥石	25,000	4 ~ 5
771 軸付砥石	25,000	1 ~ 5
790 ダイヤビット	30,000	3 ~ 5
800 純毛パフ	15,000	1 ~ 2
850 ミニドリル	25,000	1 ~ 5
960 ワイヤブラシ	15,000	1 ~ 2
980 ロールペーパー	20,000	2 ~ 4

先端工具の取付け、取外し

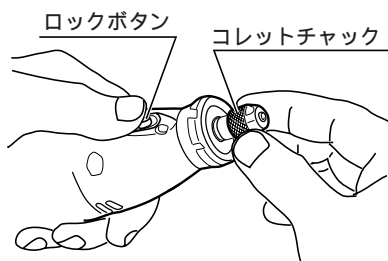
⚠ 警告

- ・先端工具（アクセサリー）の取付け、取外しの際はスイッチを切り、必ず電源コードを電源プラグより抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・必ず指定の純正品の先端工具（アクセサリー）を使用してください。異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなどの故障の原因になるだけでなく、けがの原因になります。
- ・作業に入る前には必ず試運転をしてください。
- ・スイッチを入れる前にはスパナなどの工具を必ず取外してください。また、必ずロックボタンが戻っていることを確認してからスイッチを入れてください。

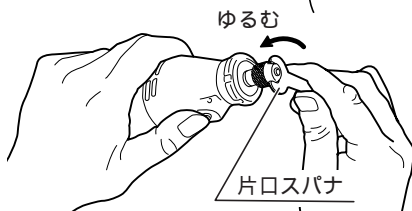
⚠ 注意

- ・先端工具（アクセサリー）は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。

- ・ロックボタンを軽く押えながら、コレットチャックを指で回し、回転軸が固定される位置を捜し、固定します。



- ・そのまま、ロックボタンを押え、付属品の片口スパナでコレットチャックを回してゆるめます。

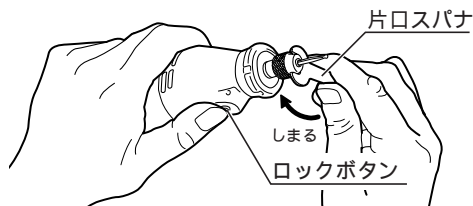


軸径2.35mmの先端工具

- ・工場出荷時に2.4mmのコレットがセットされています。
- ・軸径2.35mmの先端工具（アクセサリー）を取付けるときは、コレットチャックをゆるめ（2.4mmのコレットを抜取らないで）、チャックの先端に、先端工具（アクセサリー）の軸をさし込みます。確実に奥に当たるまで入れてください。
- ・ロックボタンを押え（回転軸を固定し）たまま、片口スパナを使いコレットチャックを締め付け、先端工具（アクセサリー）の軸を固定します。

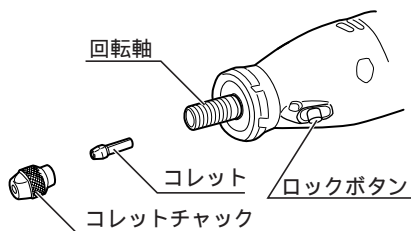


- ・先端工具（アクセサリー）を抜取るときは、ロックボタンを押えて回転軸を固定します。コレットチャックを片口スパナを使ってゆるめ、先端工具の軸を持って引抜きます。



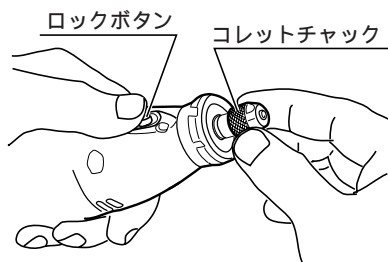
軸径3.0mmの先端工具

- ・ロックボタンを押えて回転軸を固定し、片口スパナでコレットチャックをゆるめ、2.4mmのコレットを回転軸先端より取外します。



- ・3.0mmのコレットを回転軸先端に合わせ、入れます。コレットチャックをかぶせ、抜落ちない程度に指で軽く締めます。

（注）締付けすぎると、先端工具（アクセサリー）の軸が入りません。



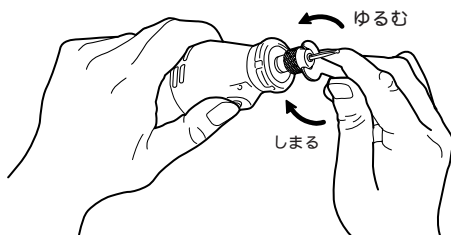
- ・先端工具（アクセサリー）の軸を、チャックの先から奥に当たるまで入れます。

- ・片口スパナを使って確実にコレットチャックを締付け、軸を固定します。

- ・先端工具（アクセサリー）を取外すときは、ロックボタンを押えて回転軸を固定し、片口スパナを使ってコレットチャックをゆるめます。

- ・チャックをゆるめたのち、先端工具の軸を持って引抜きます。

- ・2.4mmのコレットに戻すときも、同様の操作で交換します。

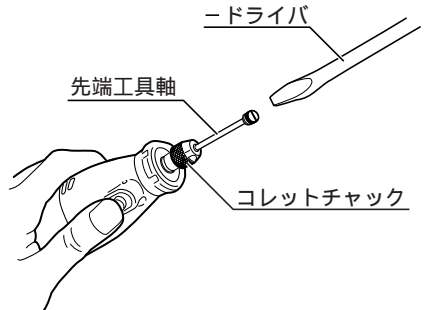


960ワイヤブラシ

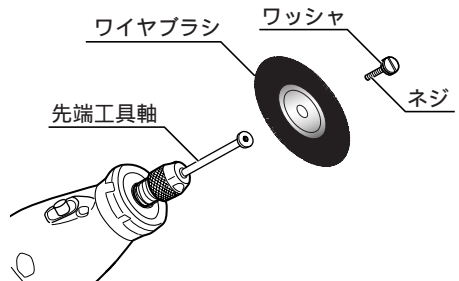
⚠ 警告

- ・必要以上に締付けると変形することがあります。また、締付けのゆるいものは、けがの原因になります。軸への取付け後は、身体から離れた状態で、必ず試運転をしてください。

- ・先端工具（アクセサリ）の軸をベンチまたはホビールータのチャックでつかみ、確実に固定したのち、お手持ちの－ドライバーで軸先端のネジをゆるめ、取外します。

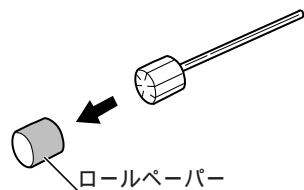


- ・ワイヤブラシの中央穴に、ネジの軸を通したのち軸にネジを締付けて取付けます。
（注）締付けがゆるいと、楕円に回転します。
また、ネジが外れてワイヤブラシが飛ぶことがあります。



980ロールペーパー

- ・ロールペーパーの内側へ、軸先端のゴム部分を指で押え、押込みます。
確実にセットしてください。



ご使用方法

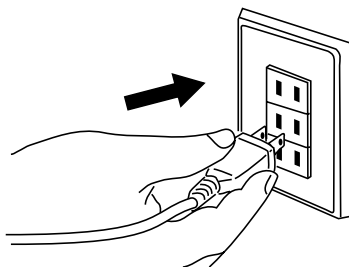
⚠ 警告

- ・巻込み事故防止のため、手袋などの着用は絶対にしないでください。
- ・保護めがねを着用してください。また、切削、研削粉じんを吸込まないようにマスクを着用してください。
- ・作業中は、目を先端工具部分に近づけないでください。けがの原因になります。
- ・機体や先端工具（アクセサリー）に衝撃をかけますと砥石などはヒビが入ったり割れたりする恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
- ・加工する材料は確実に固定してください。特に小さい材料を加工する場合はバイスなどで動かないように固定してください。加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
- ・作業前に刃物の回転方向側に人がいないことを確認してください。また、引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。研削粉は火花となって飛散するので、火災ややけどの原因になります。
- ・必要以上に押付けないでください。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障や先端工具（アクセサリー）の変形、破損事故の原因となります。
- ・万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは必ず機体に破損などがないことを十分確認してください。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

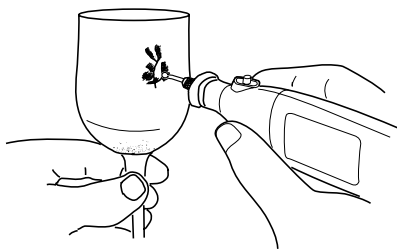
⚠ 注意

- ・滑りやすい材料を加工する場合は、加工材をしっかりと保持固定し、慎重に作業を行なってください。
- ・作業中は、ロックボタンにさわらないでください。誤って押すと、けがの原因になることがあります。

- ・電源プラグを電源コンセントに接続する前に、先端工具（アクセサリー）がチャック部に確実にセットされていることを確認してください。
- ・身体を安定した姿勢にし、加工材をしっかりと保持するか、ものによっては固定するなどしてください。
- ・スイッチが切る（OFF）となっていることを確認してから、電源を接続します。

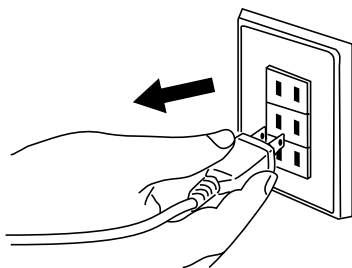


- ・スイッチを入れ（ON）、適正な回転速度を設定し、回転が安定してから作業を開始してください。
- ・回転がいちじるしく落ちるほど、強く押えて使用しないでください。
- ・作業の途中で、先端工具（アクセサリー）を交換するときは、スイッチを切った（OFF）のち、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・先端工具（アクセサリー）が熱くなっていることがあります。手で触っても熱くない程度まで冷えたことを確認してから、交換作業をしてください。
- ・作業中、機体が熱くなったときは一旦作業を中断し、冷えてから再開してください。

- ・使用後は、スイッチを切った（OFF）のち、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・電源プラグは、必ず手で持って抜いてください。コード部分を持って引抜かないでください。
- ・回転が止まっていることを確認してから、粉じんなどを取除き、次の使用に備えてください。



保守と点検

警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、スイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

各部取付けネジの点検

- ・各部を点検し、ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

使用後の手入れ

- ・使用後は、粉じんなどを取除いたのち、先端工具（アクセサリー）を取外して保管してください。
- ・先端工具（アクセサリー）は乾いた布で軽く汚れをふき取るようにしてください。チャック部分には、サビ防止のため薄くサビ止め油を塗っておいてください。
- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。

修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141